

設問 9

令和3年からの学習評価の3観点のうち「主体的に取り組む態度（学びに向かう力）」の「自己調整力」と「粘り強く学習に取り組む態度」をどのように評価していますか。設問9の記述欄に簡潔に具体的な方法を記述してください。

設問9（記述）

（千代田）

○授業内の課題やテストへの取り組み姿勢や解きなおしレポートの内容等

- ・単元の振り返りシートを用いている。

（中央）

○①問題から答えを導くのではなく、答えを与え、その答えになるような問題を作る課題。②問題を解いたら、似たような類題を探してくる課題。③問題を都中まで与え、その続きを考えさせる課題。

④「数学科からの挑戦状」という思考力を問う問題を発信。一定期間内に何度でも挑戦できる仕組みを作る。⑤毎時間、「Review Card」という振り返りシートを書かせ、その記述内容による評価。

- ・週末課題プリントに取り組みさせている。問題を単純に解くだけでなく、式化した理由や解く際に間違いやすいポイントを記入させている。記入された内容を評価している。

- ・単元レポートで記述させている。参考資料は国研の資料をもとに作成している。

- ・問題を解く過程をグループワークなどで共有したあと、自分の力にして問題に取り組む姿勢から評価を行う

（港）

○問題集への取り組みや、誤答問題のやり直しの取り組み状況の評価

「負の数は必要か」「さまざまな〇〇数について」など、設定したテーマに沿ったレポート作成による評価

- ・レポートや振り返りシートを作成し、それをもとに評価を行っている。

- ・自己調整力…自己評価をもとに自身が取り組むべき内容を調整できているか。（復習、発展的な思考など）

粘り強く学習に取り組む態度…授業内の学習（演習及び課題学習に粘り強く取り組んでいるか）

- ・毎授業最後に行っている「振り返りシート」での記述内容

- ・課題への取り組み

- ・各学年とも定期考査後に課題レポートを課しており、その課題レポートに取り組む姿勢や抜き打ちノートチェックを行い、記述内容を確認して評価につなげています。

- ・粘り強さ…授業内のワークシートで自分の意見をどれだけ具体的に書いているか。提出物を自分の力で最後まで解いているか。

自己調整力…授業内で他者や教員の意見や説明をどれだけ記述し、訂正したり学んだりしているか。提出物の訂正をしっかりとし、調整できているか。

- ・自己調整力に関して、小単元ごとに記述させる振り返りシートの記述内容による評価

粘り強く学習に取り組む態度に関して、生徒の自主学習ノートの取り組み状況による評価

- ・個別の応対での態度、単元別評価での記述内容、指導後の行動

- ・定期テストや単元テストの復習、解きなおしや振り返りの誤答分析のレポート作成での作成状況、

授業中のワークシートの内容にもとづいた評価。および日ごろの授業の振り返り、復習についての記述内容に基づく評価を総合して評価している。

(新宿)

- プリント課題の中で、「解答が整数になるはずの問題で、答えが分数になってしまった場合、まず何を考え、次にどのように取り組んでいくか」などの質問をし、その回答を通して評価する。
- ・授業ごとに振り返りシートを作成させ、継続して学びに向かう力を評価している。
- ・主に、提出物の取り組み方で評価している。
- ・教科書や自己のノートなどで既習事項の確認・振り返り等を行っている。
- ・学習前に、その単元の目標を提示したうえでその単元での学習目標を作成させる。単元終了時にその目標についての実践のふりかえりを行わせ、以降の学習に反映させるようにしている。
- ・テスト後に自己分析をし、自分で考えた課題に取り組むなどしたレポート
- ・授業態度、課題への取り組み（問題集、テスト直しレポート、プリント類）などを、少人数授業を担当している3人で、基準をそろえて評価。
- ・単元で、連立方程式の問題を30問くらい用意し、難易度によって点数が違い、合計230点以上の問題を解いて提出を求めた。単元ごとに記述式テストを実施した。記述式テスト出題予想問題を配布し、タブレットの活用や教科書を見て、解答を自分で作りテストに臨ませた。
- ・テスト直し、間違い直し、問題を自分で選択して解く課題、一定期間の間に問題集に取り組む期限内に提出（期限内であれば何度でも提出可能）など主に提出物による評価。

(文京)

- 単元振り返りレポート、テストやり直しレポート、ワークブック、授業観察、ノート、ファイル
- ・授業の内容や、考査の結果を自らの言葉で分析しているか。（授業後の振り返り、考査後のレポート、章末の課題レポート）
- ・生徒による授業の振り返り、章末のレポート作成（何ができるようになったか、どう生かしていきたいか）
- ・テスト直し等
- ・自己調整力・単元ごとに振り返りシート（何ができて、何が分からないのか、今後の課題は何かなど）を記入させ、評価している。
- ・粘り強く学習に取り組む態度・生徒のワークシート（又はノート）を評価して、正誤に関わらず、途中の考え方や式を粘り強く記入しているか。またグループ学習の様子を観察して評価。
- ・ノートやワークシートの記述内容に基づいて評価する、レポート内容の評価
- ・単元テストと類似している問題を定期考査で出題し、間違えた問題ができるようになっているかどうかを見て評価した。
- ・授業の復習ノートなど
- ・問題集の取り組み方（途中式の書き方など）、ワークシート、振り返りシート

(台東)

- 振り返りシート、ノート、レポートなど
- ・毎回の授業のプリントの記述内容 また小テストの内容や直しなど
- ・振り返りシートの記述内容により評価している。
- ・テストによる取り組み

- ・ノートを確認することができる小テストを行い、自己調整力を判断した。
 - ・*小テストの解きなおし、復習をしたか。
*ワーク学習において、丸つけ直しをしているか。
 - ・レポート、課題などで、答えにたどりつくまでの過程をどれだけ書けているかなどを評価する。
- (墨田)

- ワーク等をできてもできなくても漫然と取り組むのではなく疑問を考えながらどうすれば学習ができるようになるかを考えながらできているかを評価する。
- ・学習活動の振り返りを行い、そこから自分の課題を把握し改善していくための手立てをレポート形式で提出させる。
- ・定期考査で出題した問題やその類題をレポートで提出させ途中式や創意工夫のチェックをしたり、問題集を提出させ途中式やの取り組みをチェックして評価資料を集める。授業態度も評価資料にしている。
- ・各章ごとに「わかっている問題に対して、より深く理解するために」、「わからなかった問題に対して、何がどのようにわからなく、どう改善していくか」を教科書を見ながら記述させる。
- ・学習の振り返りを活用し、1 単位時間で学んだこと、まだ理解が足りないことを記述させ、単元末にはその振り返りを行う。
- ・毎時間の授業で自己評価とその単元を学んでの感想をまとめさせている。また、その章の始めに感じたことと、学び終えた後とを比較することで変容をみれるようにしている。
- ・他者の考え方を知り、それを取り入れながら自分なりに学習を進めている記述が見られるかどうか。
- ・小単元ごとのふりかえり（理解したこと、不安のあることおよびその解決策、疑問に思っていること 等）の記述
- ・レポートやワークシートの記述を粘り強く学習に取り組む態度として、定期考査の解き直しでの取り組みを自己調整力として評価

(江東)

- ①ノートとワークによる評価点 ②自己評価 ①②の割合を教員で調整。全体の 1 / 3 を評価点とする。
- ・授業の内容によって、繰り返し同じ様な内容の小テストを行う。
- ・単元ごとに小テストを行い、生徒に自己評価シートを書かせていく。その後、定期テストで類題を出題し、小テスト・自己評価シートを経て、どのように変化していったかを見ていく。
- ・自己調整力：①単元、項ごとの振り返りや今後の課題を記述させる ②ワークシートやワークシートを貼付したノートチェック ③話し合い活動での記述
粘り強く学習に取り組む態度：①問題集などの提出物 ②授業での行動観察
- ・授業ごとに、その授業の理解度や学習のまとめ・感想等をまとめて毎時間提出させたり、単元ごとに振り返りの時間を設定して、それに教師が返答する形で、粘り強く学習に向かい、自己の理解度に応じて学習を調整する機会を設定評価している。その他、ノートや問題集への取り組みの様子を見て、アドバイスしたり評価したりしている。
- ・提出物や発言だけでなく、教科書の深い学びや数学のまどなどについて生徒が自分で考えてレポートに提出させて評価している。

- ・自己調整力…授業の流れに沿って、適切な作業が時と場合に応じてできているか。振り返りを書いているかやその内容。

※授業構成：①[10分]基礎計算演習 ②教師問題解説[10分] ③演習[25分] ④[5分]振り返り

- ・粘り強く学習に取り組む態度…分からない問題を授業中諦めずにやっている。友達や先生に質問しに来ている。自力解決をしようと教科書等の教材を見たり、試行錯誤している。
- ・ワークの回収。テストのやり直しノートの回収。数学の公式等の単純暗記を問う問題の小テストなど。
- ・提出物などの取り組み状況やペーパーテストから評価している。
- ・各単元の学習を終えたときに行う振り返りシート（プリント）
- ・自主課題レポート ・定期テストの直しレポート ・ノートやワークシート ・プレゼンテーション
- ・長期休業中の課題として、ノートに過去の学習内容を各章5ページ以上でまとめさせ、その出来ばえを評価した。
ワークの問題で間違えたものを、復習ノートに繰り返し行い、課題を克服する姿勢を評価した。
- ・振り返りシートを活用する。自らの改善点の指摘や改善方法を記述することを評価する。
- ・課題に対して、相手からどのように見られるかを考えながら取り組むことができているか。
- ・各単元末に実施する「学びの足跡」を課題として提示し、その記述を評価する。
- ・提出物（ノート、問題集、レポート）
- ・途中式の記述状況や、間違い直しの状況から判断。
- ・学習カードを毎時間記録させ、自己評価とともに進捗の状況を毎時間自己分析させたものを反映させる形で評価
- ・単元ごとに振り返りシートを行い、生徒自身が単元でできるようになったこと、不十分だったこと、次の単元に向けて取り組んでいきたいことを書かせて評価を行った。
- ・ノートに課題を取り組ませ、その課題の解決に向けてどのように取り組んでいるかを評価している。
- ・定期考査の直し
- ・机間指導等を通じて捉えた生徒の取組の様子、発言の内容など行動観察による評価。定期考査や単元別テストなどペーパーテストによる評価
- ・課題への取り組む様子から

（品川）

○自己調整力…自己評価ワークシート

粘り強く学習に取り組む態度…ワークシートやプリントの記述内容

- ・問題集の取組を評価する際に、間違えた問題などの直しをさせたり、間違いやすいポイントをまとめさせたりしている。また、間違えずに問題が解ける生徒は、よりよく解く方法を自分で見つけさせる。それらを問題集のスペースに書かせた上で、取り組み内容を小テストや単元テスト等の結果を踏まえながら評価している。
- ・「自己調整力」は、定期考査の直し記述内容と自己評価シート、「粘り強く学習に取り組む態度」は提出物と授業での観察による
- ・問題集等への取り組みで、自力で解けなかった問題にどのように対応しているか。定期テストや単元テストの際に、最後まであきらめずに取り組んでいるか。

- ・レポート課題等の自主提出
- ・授業終わりに、振り返りレポートに取り組ませている。
- ・生徒が自己の習熟の程度を把握し、それを踏まえながら、どのような既習事項を活用し、どのような過程を経て課題解決に至るかを評価している。
- ・総合的な問題として定期考査に入れた。
- ・定期考査後の「学習のカルテ」や、「定期考査レポート」、授業後に書く「振り返り」などの記述内容をもとに評価をしている。
- ・復習用のミニプリントを実施し、既習事項のできる部分をより確実に解けるようにしたり不足部分を補ったりしている。また、問題練習を多くとりいれたり、発展的な課題を取り入れたりし、粘り強く取り組む態度を育成している。
- ・単元や学期ごとに数学の学習に関して振り返りをし、どのような方法で自己改善を図るかなどを考えさせて、それを実行する課程を記録し、次に生かすPDCAサイクルを重視した形のワークシートを使用したり、それを踏まえたうえで振り返りをさせている。
- ・自己評価シート、定期考査等のレポートでの記述内容
- ・授業内の課題や宿題、レポートについての取り組み方を評価している。また、こまめなワーク提出も行っている。
- ・ワークシートによる評価。「何がこの授業でわかったか」「どのように学んだか」という質問に対し、記載事項を評価する。
- ・1つの問題で複数の解き方を考察するワークシート 具体的には中学2年生の連立方程式の活用の「鶴亀算」 連立方程式を使うことについて考察する。
定期考査・単元テストの解き直し、振り返り、誤答分析 問題集の取り組み 特に間違えたところはどこで間違えたか赤で直す。

(目黒)

○ワークへの取り組みとテスト結果をリンクさせ、自己調整力を評価しています！

- ・設問8と同様です。
- ・課題や小テスト、単元テスト、定期考査などにおいて、自己評価や自らの課題発見、それに対する解決策、間違えた問題に対しての解き直し。
- ・評価シート、テストの解き直し、本時の授業内の小テスト、予め出題する問題を伝えて行うテスト
- ・定期考査で出題する問題を一部公開し、準備をして、類問などをだすテストに向かわせた。
- ・自己調整力—数回の同内容のテスト、粘り強く学習に取り組む態度—提出物への取り組み
- ・設問8と同様です。
- ・ワークシートの記述内容で評価している。

(太田)

○単元ごとに振り返りシートを記入させ、自己評価の資料としている。ノートの記入、問題集の取り組みを確認することで学習評価の資料としている。

- ・ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察、児童生徒による自己評価や相互評価の状況
- ・主に2種類の取り組みを観察して評価している。①授業中に取り組ませたノートまたはプリントの内容 ②家庭学習として取り組ませた問題集の解答内容およびその自己採点・解き直しの内容

- ・机間指導で評価している
- ・友達に教えてもらいながらも解き切ろうとする姿勢や、タブレットドリルですすんで問題に取り組む姿勢を評価している。
- ・ノート、レポート、発言、学習に取り組む姿、子供の自己評価などを総合的に見て評価する
- ・復習ノートを作成させ個人で決めた課題に取り組ませる。
- ・課題のレベルを自分で選べるようにしている。
- ・各単元の最初に個人目標作成。毎授業ごとに振り返りを行い、学期末に提出。
- ・例えば、テスト直しに「できるようになったこと」や「これから知りたいこと、学びたいこと」等を書かせて評価している。
- ・ノート提出、プリントの課題など
- ・家庭学習の様子・単元ごとの学習の自己評価
- ・学習課題について発展させて考えようとしているかをワークシートの記述から読み取ったり、学んだ知識を日常生活に生かそうとしているかを振り返りの記述から読み取って評価しています。ワークの取り組み具合やノートを工夫してまとめているかなどから粘り強く学習に取り組む態度を評価しています。
- ・定期考査等のペーパーテストの解き直し課題を用いて、提出内容により評価している。
- ・教え合い活動での生徒の様子の観察
- ・定期テスト・単元テストごとにテスト直しをさせている。解答に結びつく考え方を身につけさせている。
- ・「自己調整力」に関しては、第一学年において、毎授業ごとに生徒に記入させている振り返りシートを活用している。具体的には、記述内容から自己理解のできているところ、まだ理解の足りないところがどのように記入できているか、また、それに向けてこれからどのように取り組んでいるかを評価している。
- ・定期考査や単元テストを実施した後の、解き直しレポートの取り組み。オープンエンドな問題の解答の様子や、これからの学習へ生かしたいこと等の記述の様子。
- ・事前に評価の仕方を説明し、それに向けてどの程度主体的に取り組んだかを評価する。例えば、確認テストや定期考査で目標〇点以上とれるようにしたい。そのために、副教材の問題を繰り返し解いたり、間違えた箇所の解答をポイントをおさえながら赤でワークに書くなどの取り組みが見られたかを評価する。
- ・課題プリンやワークトへの取り組み。
- ・自己評価シート・ステップ学習の取り組み
- ・設問8
- ・副教材の間違った問題に対し、正解を書き込むだけでなく、途中式を書いて理解しようとしているか。
- ・ふり返しシートを使用し、小テストや定期テストに向けた目標の記入、その目標を達成するための具体的な取り組み目標（ワークなどを活用）、また、テストの結果を振り返って次回に向けた目標の記入等を評価材料としている。
- ・ペーパーテストや提出物による評価を行っている。提出の遅れは減点評価しない。再提出も認めている。

- ・単元テスト・定期テストの振り返りシートの記述と実際の点数を比較する。

(世田谷)

- 定期考査の反省と、解きなおしを行い、「なぜ間違えたのか」「どのように学習に今後取り組むか」なども記述させ、評価している。
- ・生徒が毎時間の振り返りを記入する單元ごとの振り返り用紙を、全校体制で活用している。その中で、「疑問に思ったこと、今後の課題」欄と「それについての考察や解決策」欄を設け、前者を「自己調整力」、後者を「粘り強く～」として評価している。
- ・同じ形式のテストを定期的に行い、点数の上りや点数の継続的な集計を行う。提出物も、次間違えないようにするための工夫を見る。
- ・レポート課題で評価をしています。自分の学習状況に振り返り、課題を見つけ、その課題を克服するためにどうするか等を定期的にかかせています。どのような問題を解けば課題を克服できるのか考えさせ、実際に解かせています。
- ・①ワークなどの途中式や考え方を繰り返し提出させ、強く取り組む態度を評価している。②授業中の態度（発言、発表）を細かく観察し評価に反映させている。③問題作成などのレポートに取り組ませて自己調整力、粘り強く取り組む姿勢を評価している。
- ・ノートや振り返りシートの記述内容をもとに評価した。
- ・再テストとテスト直しを実施し、誤った問の振り返りを粘り強く取り組んでいるか評価しています。
- ・「テスト直しノート」に、どのように間違い、どうすればよかったかを分析させている。
- ・長期休業中の課題の内容から、確認テストを行う。
- ・上記の問いの解答と同じです
- ・単元末や定期考査後に行う学習の振り返りレポート等で評価している。
- ・「自己調整力」：Qubena を利用し、定期テストの復習課題を自分で問題を選んで解く
「粘り強く学習に取り組む態度」：課題提出。授業態度。
- ・間違いを回答した問題に対して、あきらめるのではなく自分で間違いを分析し積極的に解き直しをする様子などを評価している。
- ・課題への取り組み方（特に直しなど自分の課題を捉え、継続的な努力を続けているか確認し、さらに自主的に取り組んでいる課題も提出させている。）
- ・提出物の提出状況において、再提出が可能な場合にもう一度提出するかなど。
テストにおいて自ら探求に臨み学習に活かしているか確認するなど。
- ・「自己調整力」については、自身の課題及び学習内容のポイントを自分なりに理解し、課題の解決に向けて調整している様子が見られるか。「粘り強さ」については、難しい問題に対して、試行錯誤しながら取り組もうとしていたか。また、問題を解く量を増やし、知識や技能の定着を図ろうとしていたか。
- ・レポートや提出物。
- ・振り返りシートを活用した自己の学習に対する取り組みや、それに対して取り組みが改善されているかなどを評価している。
- ・生徒が各節ごとで「わかったこと・大切だと思ったこと」と「よくわからなかったこと・課題」を具体的に書き、自身の学習を振り返っているか。
問題に取り組むなかで、重要になる部分や間違えた部分をメモ等で加筆しているか。

- ・自己評価シートの内容による記述
ワークブックの解き直しなど
- ・①課題に対して各自で目標を設定させ、取り組んだ内容で評価する。
②課題の中で誤ったものができるようになるまで、どのように取り組んだかを評価する。
- ・ワークシートによる振り返り

(渋谷)

- 単元ごとに、分かったこと・まだ分からないこと・今後調べたいことなどの振り返りを書く。ノートやプリントの記述内容など。
- ・提出物への取り組み方を段階に分けて評価している
- ・定期考査とワークシート
- ・①机間指導等を通じて捉えた生徒の取組の様子、発言の内容など行動観察による評価
- ・毎回の授業時に記入するファイルと各章の終了後に記入するワークシート及び発言、発表内容、ノートの内容で評価しております。
- ・問題集の記述や課題の記述など。
- ・定期テストや単元末のテストお振り返りをワークシートに記入させ提出させている。

(中野)

- 授業内で取り組んだレポートやワークシートの取り組み状況や、章テストや定期考査後の復習レポート（授業内で実施）の記述内容を参考にして評価しました。
- ・単元テスト後に、やり直しノート（まちがった箇所のみを再度解く）を作成させることで、粘り強く取り組む態度、自己調整力を評価している。
- ・間違えた問題に対し、どう間違えたのか、どこで間違えたのか、何がわからなかったのかなどを具体的に分析を書かせた上で解き直しをさせ、その内容について評価している。また、問題を解くときには、考え方や途中式、またその問題を解くときのポイント等をしっかりと書かせ、その内容について評価している。
- ・生徒の取り組みの様子と変容を定期的に評価する。学習内容に関して記述させ、記述内容を読み取る。定期考査や単元テストで粘り強く取り組む態度を評価する。
- ・①テスト直しの記述内容に基づいて評価②レポートなどの課題による評価③ワーク等の課題に取り組む態度への評価
- ・計算問題など結果だけの評価ではなく、取り組んでいる過程を評価する。
- ・定期考査のやり直し、ノートに間違えた計算の途中式をちゃんと書いてやり直しをしているか等
- ・自学ノート、定期考査の振り返りワークシート、レポート

(杉並)

- 与えられた課題に対して、生徒自身で学習状況を踏まえてどこまでの内容を取り扱うか決させ、取り組ませる。課題後、振り返りを行い、できた内容、できなかった内容はどのように学習すればよいか確認させる。
- ・1 章の学習がある程度進んだ段階から、出題範囲を明確にしてほぼ毎回同じ内容の問題を出題する小テストを実施。「粘り強く」「調整」して取り組めば全問正解できると考え、第1観点の評価に加えている
- 2 章末問題を解き、答え合わせをして、大問ごとにまとめや類題・発展問題の演習をするレポー

トを課し、評価に加えている。答え合わせの結果、十分できていれば発展問題を、あまり定着が十分でなければ、既習事項の確認や類題の演習をするよう指示。

3 定期考査後に、間違えた問題から3問を抽出し、誤答分析を詳しく行った上で類題の演習や発展問題の演習を行うレポートを課し、評価に加えている。

4 授業ノート（担当教員によってはプリント）を定期的に提出させ、学習への取り組み方を評価している。

- ・小単元や単元の学習の後に自らの学びを振り返って1枚程度のシートに記入する機会を設けて、評価に加味している。

レポートの感想や、授業の感想を小まめに記述させることで、評価に加味している。

- ・ワークの取り組み方（必要な途中式があるか、直しを丁寧に書いているか）

提出物の管理（提出期日を守る）

振り返りの時間の確保とワークシートへの記入

- ・上記の設問8の通り。

- ・自己評価シート等に「学びに向けて自己評価・自己調整」を記入させている。

- ・自己評価シートの比較や課題の提出。

- ・授業ごとや各章のまとめとして自己評価等を行い、自分の学習の進め方の改善について考えさせ、改善策を実行した結果を見取り、評価する。

「粘り強く学習に取り組む態度」は、行動観察と自己評価をもとに評価する。

- ・自己調整力：宿題・課題等

粘りづよさ：テスト直しレポート・振り返りシート

- ・○ワークシートへの記載事項をもとに評価する。

○レポートを出させ、その内容について評価する。

- ・自己評価の後に、改善案や反省点をかかせている。

ワークシートで間違えた問題を解き直させている。

- ・ワークの取り組みにおいて、直しをする際、解き方のポイント等を書くようにしている。

- ・テストの解き直しをさせた後に、数値を変えて再テストを行い、自己調整力として評価している。

- ・定期考査や単元テストに取り入れている。また、定期考査毎にノートにやり直しをさせ、分析状況やその後の変容を見て評価している。

- ・誤答に対して各自で理由を考えさせ、その結果をレポートとして提出させ、その内容を評価した。また、集団で取り組む時間を設定し、取組態度を評価した。単元末の振り返りをワークシートに記入させ、学習内容の定着状況も踏まえて評価した。

- ・授業ガイダンスで振り返りシート・ノートの評価方法について説明し、それに成果と課題や理解を深めるための手立てを記述させて評価しています。

- ・解くのに時間がかかるレポート課題を出し、どこまで出来ているのかを見る。

- ・毎時間の生徒提出の振り返りシートを確認し、記入している内容の変化について評価している。通常での授業の取り組み等に関して、一定の期間を決め、取組の様子を評価している。

- ・生徒自身が記入する振り返りカードの記述内容や生徒一人一人に対して行う面接における口述内容によって評価する。

- ・単元テストでやった内容の問題に類似したテストを実施する。復習を行ってできなかった問題をで

きるようになってきているかをポイントとして確認している。テスト終了後には、問題作成・やり直しレポートを実施し、自ら学習に取り組んでいるのかを確認している。

- ・「〇〇しようとしている」状況を一つの単元の中で複数回評価し、その変容の具合を自己調整力ととらえて評価している。反復練習の程度や課題の取組状況を提出物などの評価材料で評価している。(豊島)

○自己評価シートによる評価

ワークやノート記述の継続観察を通じた評価

- ・授業ノート指導をし「自分の考え方」「友達の発言」「今日の授業で分かったこと」「振り返り」などを記入させ、単元ごとに自己評価シートを記入させ、学びに向かう力を評価している。
- ・授業に取り組む姿勢（おおむね良好）。
- ・振り返りシート、授業での様子、宿題・ワークやテスト直し等の提出物等を用いて、総合的に評価している。
- ・毎回のテストを振り返らせる。そこに至るまでの授業の取組で続けたいことや改善したいことを記述させる。ワークの問題から自分に合ったレベルを選択し、取り組ませる。振り返らせる。
- ・「自己調整力」に関しては、ミライシードのドリルパークでの課題を与えているが、成績の評価には入れていない。「粘り強く学習に取り組む態度」は、ノート評価の際に、問題のやり直しや自分なりの補足説明等を記入できているかで判断している。
- ・振り返りシートやレポート課題、ポートフォリオなどを定期的に提出させ評価している。レポート課題を定期的に出したり、振り返りシートを活用したりするなどして、評価材料を昨年度よりも多めに収集し、授業での様子と合わせて総合的に判断している。ノートやワークシートの記述内容については、評価基準を事前に伝え、理解を深めるためのメモや、苦手を克服するための努力などを記述内容から見取るようにしている。
- ・基礎力コンテストや単元テストを通して、やり直しや合格点までの繰り返し演習の中で評価します。

(北)

○特になし

- ・事前に設定された課題を身に付けるまで取り組ませ、ペーパーテストで評価している。
- ・定期テストの点数を基本に、課題にどれだけ自主的に取り組めたかを見ています。自己調整力・・・課題の取り組み度合いと点数の比較、粘り強さ・・・課題をどこまで取り組んだか、最後まで取り組めたかを見えています。
- ・レポートにループリックを設定し評価する。
- ・自分なりの気づきや疑問、ポイントをまとめるなど様々な見方や取り組みができてきているかを捉え、評価している
- ・定期試験のあとに、自己評価と振り返りをする。また、1週間後にやり直しテストを行っている。
- ・課題に対して多様なアプローチをし、問題解決に取り組んでいるか。既習事項を用いて、新たな課題へと取り組んでいるか。(机間指導、発言内容、発表)
- ・毎時間の自己評価を行う振り返りシート、グループ学習やペア学習の活動の様子、各節ごとや単元ごとのまとめレポート
- ・定期考査や単元のまとめなどでの自己評価。問題集などの取り組みや工夫の仕方、また年間を通して取り組む姿勢に変化があったかどうか。

- ・自らの学びを振り返って「わかったこと・大切な考え」「知りたいこと」などを記述させて生徒による自己評価。机間指導等を通じて捉えた学習への取り組みの様子、発言やつぶやきの内容。レポートの内容。
- ・自力解決→教え合い のような問題掲示をし、その授業での様子やワークシートで評価している。章や小単元ごとに、振り返りシートを書かせて評価している。

(荒川)

○自己評価シート、レポートで評価

- ・課題に取り組む姿勢の観察など
- ・教員の主観があまり入らないように配慮した課題。
- ・理解が難しい問題に対して諦めずに考えようとしているかどうか。
- ・小テストや定期考査後に、解説や模範解答などの問題に関する指導をする。その後に、テストの類似問題や定期考査の解きなおしを行い、評価する。
- ・朝学習と朝学習確認テストの連携・連動
- ・授業に関するリフレクションカードの変容。
- ・赤ペン先生方式（答えを配布しない課題を教員が採点し返却。間違えたところを直して、全問正解になるまで再提出を繰り返す方式）のプリント学習の取り組み状況。
- ・テストの振り返りシートへの記述内容の観察

(板橋)

○平素の授業に向かう姿勢、ワークやワークシートの取組状況、授業ノートの記述内容、定期考査の振り返りで評価している。

- ・ワーク等の取り組み状況
レポート課題の内容
- ・「自己調整力」と「粘り強く学習に取り組む態度」を、それぞれ普段の授業の様子、自己評価、振り返り、ワークシート等から点数化して評価している。
- ・単元の振り返りを言葉でまとめ、次の学習に生かしている。レポートまとめ。
- ・自己評価カードに学習計画を記述させ、調整できるか見取る。
- ・誤解答の例から、そこから分かることや自分に活かしていくことなどを記述させる。
- ・自分の考えや思考の過程を自分の言葉で表現できているかや、定期考査に向けてどのように学習に取り組んだのか、発展的な問題に対して意欲的に取り組んでいるかなどを評価した。
- ・授業の最後に、めあてに対しての達成度や具体的に何を学ぶことができたか自己評価をさせ、復習や次回の授業へとつなげられるようにしている。
- ・読み解く力を重視し、自分の考えの過程をまとめ、修正して正しい結果を導こうとする姿勢をワークシートや振り返りシートなどで評価する。
- ・課題を与え、それを自らの力で解決しようとする。さらに、その課題に基づいた小テストを行い、課題解決のための手立てを身に付けられたか確かめる。
- ・授業中のプリントや問題集などを提出させることなく、取り組んだ内容を評価している。まだ、取り組んだ結果も評価に入れている。
- ・ワークシート、問題集などの課題をきちんとやっているかを評価する。
- ・自己調整力・・・一度行った課題やテストを繰り返し行い、思考や技能を見る。

粘り強く・・・ワークやテスト直しの課題など

- ・授業態度や、問題集への取り組み、単元まとめレポート、定期考査の振り返りで評価している。
- ・普段の授業の様子やワークシート、振り返りシートなどを用いて評価している。
- ・各授業の振り返りで、本時の学習内容の課題を生徒に記述させる。
授業でのプリントやノートの取り組みを評価。
- ・問題集などの課題提出 レポートの質など
- ・誤答やわからなかった問題に対する取組・ふりかえりシートの記述内容
- ・ポートフォリオや振り返りの記述、毎時間の学習内容に応じた課題への取り組み、計算などの導出過程の記述
- ・テストの間違い直しレポートでの取り組み方を評価
小テストや定期考査での問題において、どのように考えたかを記述させる。
- ・テスト直しや課題に対しての取組状況から評価。(誤答分析・改善に向けた取組等)
授業中の課題やワークブックにおいて、解決に向かうプロセスの記述から評価。

(練馬)

- 自己の学習・授業の振り返りを定期的に記入するプリントを用意し、自分自身の課題に気づき、その課題をどのように向き合い、解決していくかを記述し、取り組みの変容を見ている。
- ・授業ごとに課題を提示し、課題の達成状況によって自己調整力と粘り強く取り組む態度をABCの三段階で評価を行う。
- ・授業の内容に対して、難しいと思った点を明確にできたかどうか。その点について、どのようにすればよいか考察できているか。
- ・課題に取り組み、提出したかで評価
- ・単元の最初と最後にレポート課題を提出する(単元の予習、振り返り)
- ・学期に1回、レポートの作成を行い、その取り組みを振り返って自己評価(A～E・記述)をつけさせている。毎テスト後、テストの直し直しを行い、できなかった問題のみ考え方やポイント、反省、次回に向けて等をノートにまとめさせている。2学期より、小テストの直し直しを行い、テストの直し直しと同様にまとめさせる。
- ・課題やテストや提出物に繰り返し取り組む。(再提出などを含めて)
- ・授業での様子や課題などに取り組む姿勢。また、定期考査後の振り返りシートなど。
- ・定期考査の点数をもとに、個人内評価シート、ノートやワーク、授業への取り組み等を加味した評価としている。
- ・学習の自己評価をして変容をみる。毎回の小テストの記述内容の記録を行っている。
- ・授業観察、ノート観察、授業毎の振り返りシート、小テストで評価しています。
- ・設問8の②でいうと、振り返りをどの程度充実して記述しているかやノートを工夫(プラスアルファのノート作り)しているか
④でいうと、授業で扱った内容で、出題を告知していた記述問題の取り組みの様子
- ・任意のレポート提出を行い、レポート内容などから評価をつける
- ・特に今までと異なる評価の仕方はしていない。
- ・単元別テストや単元の振り返りを用いて、生徒が自身の学習状況について評価・改善、今後の学習

にどのように取り組んでいくのかの過程を記述させている。

- ・テスト直し、自己評価表、教え合いの様子、問題を伝えたテスト
- ・単元ごとのレポートの内容
- ・学習カード（自己評価シート）・提出物の取組状況・授業の行動観察
- ・節ごとに振り返りシートを記入させ、上記の2点を評価している。
- ・①単元の節ごとに、授業中に学習内容を振り返る「学びの足跡」の記述 ②定期考査後に行う、「解き直しレポート」の記述内容 ③単元ごとに学習内容を振り返る「単元まとめレポート」の記述内容 ④計算プリントの記述内容
- ・レポートの内容や振り返りシートを活用し、取り組み内容を評価している。
- ・ノートやワークシートなどの内容が、数学的な考察によってかかっているか、かかれた内容と模範解答を比較して、自分の課題点を見つけ、よりよく改善することができているかなど。
- ・レベル分けをした課題を、タブレット上に出し、途中式などを中心に考えさせて、粘り強く学習に取り組めるようにして、提出状況や内容により評価をしている。
- ・単元ごとに振り返りシートを用いて苦手な内容を確認し復習する等自ら確認し学べる機会を設定する。
- ・プリント等の取り組みの様子で評価を行っている。
- ・ワークシートの取り組みで、途中式を書いているか、間違えた問題を再度取り組んでイルカなどを確認し、きちんとできるまで指導を続けて、その様子で評価している。
- ・何かいい評価方法があれば教えていただきたいです。
- ・自己調整力・・・単元の学習内容に沿った演習プリントを単元末に配布し、復習に取り組ませている。すべてのプリントが終わった段階で、提出させて、学習状況について評価するとともに、内容理解が不十分な生徒へ、学習方法についての支援を行う。

粘り強く学習に取り組む態度・・・単元テストを行った後に、単元内容をまとめたテストを配布する。このテストは、自分で調べて解答可、点数が満点になるまで繰り返し提出可とし、1週間程度を期限として取り組ませている。最終的に、最も高い点数を評価材料として扱う。

- ・単元ごとの自己評価シート
- ・問題を解く上で工夫したことや説明文を書かせたり、周囲との話し合いを通して問題を解決する方法を振り返り、別の方法を考えさせたりしている。

(足立)

- 授業の進捗や単元に合わせ、ワークシートを配布し、本時の振り返りや次回に学んでみたいことを記述させる。
- ・毎時間の学習の取り組みと、節や章の振り返り時の評価テストで、学習の定着度の変化を評価していく予定である。
- ・振り返りシートや課題プリントの内容
- ・週1回程度実施する振り返りシート
- ・各章ごとにレポートを作成している。(学習したもの、新たに気付いたもの、大切だと思うもの等をまとめます。)
- ・毎授業毎に振り返りシートや、単元ごとに自己評価シートを記入させている。
- ・各授業における振り返りシートの中に、「わかったこと、感じたこと、課題、課題解決に向けて必要

な学習」という項目を設け、その記述内容を評価している。

- ・小テストに対して勉強をやってきたかどうか。ワークなどの提出物から粘り強く学習に解く組んだかどうか。
- ・定期考査や小テスト、単元テスト後に、学習への振り返りシートを実施し、自己の課題・反省点等を振り返らせることで、自己調整力と粘り強く学習に取り組む態度を分析させる中で評価をしている。
- ・「主体的～」に関しては、応用的な問題について自分の考え方を示したり、証明で示したりさせる。「粘り強く～」に関しては、定期考査での間違い問題についてやり直しをして知識を習得する取り組みをさせる、など。
- ・基礎知識を活用した、応用問題の解き方や考え方の記述
各授業の振りかえりを用いた単元毎のレポート
- ・提出物、ノートなどの記述内容を見て、取り組み状況からの評価
- ・スモールステップにわけて宿題に取り組みさせ、その後、定着度を確認するテストを実施する。
- ・自己評価シートなどを活用して、本人の評価も参考にしながら、取り組みの様子やテストや提出物などで総合的に評価している。
- ・机間指導を通じて捉えた生徒の取組の様子、授業態度
- ・単元(教科書の節)ごとに振り返りシートを記入させて、その記述の程度によって評価している。
回収したノートやワークブックの取り組みの程度で評価している(提出の有無ではなく、書いてある内容による)。
- ・例 ①テストを実施し、採点後返却をする。後日、再テストを実施し、その変容をみる。
②問題集の課題範囲を通知し、その中からテストを作成し、実施する。
- ・生徒の発言や説明、問題に取り組む姿勢などを見て判断する。
- ・振り返りシートを活用し、評価している。
- ・単元テスト・定期考査に同様な問題を出題し、正答率や解答数が増えたかどうか。
行動観察による評価(主観的な評価になってしまうが)
- ・ワークの取り組み方(わからない問題を理解しようとしているか)
机間指導での生徒の様子
- ・授業中の様子、ノートやワークシートの記述内容、レポートの内容
- ・振り返りシートの記入内容や提出物の完成度で評価している。
- ・定期考査の間違い直しレポートを実施して評価している。
- ・ルーブリック表を活用して、単元ごと、授業ごとに振り返りを行った。
- ・定期考査後のリベンジテスト(行う予定)
文章問題における記述について、自分なりの解答方法を考えて記述されているか。
- ・単元の振り返り ・定期考査の解きなおし ・ノートへの記述 ・問題集への取り組み方
- ・レポートや発表による評価(見通しを立てているか、達成状況を自己評価しているかなど。)
- ・節ごとのポートフォリオで自己の振り返りを行い、評価している。またその中で自らの課題や興味に沿って、レポートにまとめて評価している。
- ・テストのあとの再自己評価、ワークシートの記述内容、授業の発言・取り組み
- ・ふりかえりシートを活用し、毎時間の授業のポイントを記入させ、評価している。

- ・振り返りシートと学びの足跡シートの記述から見取れるか

(葛飾)

- ①問題集や提出物等の課題が不備なくやっであるかどうか。②テスト後のやり直し等振り返りによって、学習の取り組み状況や結果が振り返っているかどうか。③前回の授業の確認クイズ
- ・自己評価シートの欄に、「単元の中で得意になったと考えるもの」「単元の中で難しいと感じたもの」「難しいと感じたものに関してどのように学習を進めるか」といった枠を作り、生徒に答えさせる。
- ・ポートフォリオ、振り返りシート（自己評価シートにあたる）の記述内容により、自己調整力を評価している。ノートやワークシート、問題集の提出で、間違えた問題をわかるまで理解しようとしているか、間違えていない問題でもポイントなどを確認しているか等により粘り強く学習に取り組んでいるかを評価している。
- ・授業中の取り組みの様子やノートやワークの内容、振り返りシートや定期考査に基づいて評価している。
- ・習熟度に合わせた問題。机間指導。放課後の補修授業。
- ・自己調整力や粘り強さは、個人の能力に関わることなので、評価の仕方が難しいと感じています。評価の仕方（成績への反映の仕方）を教えてください。
- ・自己調整力では、自己評価シートやワークシート、ペーパーテストの一部などで、粘り強く学習に取り組む態度では、レポートや発表、発言など。
- ・定期考査、課題テストなどの実施後に、テスト直しレポートを課題として出している。その中に、自分のテスト勉強、授業への取り組みを振り返らせるとともに、間違った問題をなぜ誤答したのか自己分析、同じミスをしなないための手立てを考えさせる
- ・毎回の授業で振り返りをさせ、自分がどの程度理解できているか書かせ、小單元ごとに学習内容を理解するためにどのようなことを改善すればよいか、記述させており、その記述内容から評価をしている。
- ・レポート課題を提示し、その取り組みと記述内容を確認します。また、授業ごとの振り返りシートへの記入内容を確認します。
- ・類題のテストを数回実施し、点数の変動を見る。
難問に対する取り組み方やテストでの記述から読み取れる思考過程。
- ・自己評価シートを毎時間の授業で記入するとともに、章ごとに最初の課題と、終末の振り返りから、変容をみとる形式をとっている。
- ・観点Ⅰ～Ⅲは互いに独立することなく、観点Ⅲ「主体的に～」は観点Ⅰ・Ⅱと密接に関わりあうことから、Ⅰ、Ⅱの素点をⅢにも反映させて評価をしている。今までの提出物等を観点Ⅲにも入れているが、「自己調整力」と「粘り強く～」をはっきりと数値化はできていなく、今後の課題となっている。
- ・授業中やワークなどの取り組み方を評価している。
- ・振り返りカード、ノート
- ・授業内容の板書をノートに書かせながら、自身の考えや工夫も記述させている。また、授業の最後に本時の振り返りやまとめを記入させている。以上の項目を総括的に評価している。
- ・不正解でも解答用紙が「白紙」「図や表が書いてある」「最初に式が書いてある」「問題の要点の記述がある」など、解答に取り組もうとする姿勢や状況を評価。

- ・テストやワークの間違いから学んだことの記述 問題解決の過程の振り返り 課題に取り組む姿勢
- ・定期テストの振り返りシートによくできたところ、できなかったところ、今後の学習方針を記述させ、具体的に書いていればA、大まかに書いていればB、そうでなければCとした。
- ・ワークやプリントの課題を、違った方法で解いたり何回も繰り返し学習するなどの取り組み方法を評価する。また、その結果テストや理解の向上につながったかどうかを振り返りのポートフォリオやテストの到達度で評価する。
- ・①小单元ごとに生徒に書かせた学びの足跡シートの記述内容 ②单元テストや定期考査の振り返りに関する記述に内容 ③单元学習後のレポート内容
- ・毎回の授業で、生徒が達成できたこと、できなかったこと、次回への目標を振り返らせ、振り返りシートに記入させている。振り返りシートに記入した内容と、定期的実施する单元テストや定期考査の成績を合わせて、一人一人の生徒が持った課題を達成できているかを評価している。

(江戸川)

- 課題を取り組み、まちがえた問題について分析したレポートを提出して、ワークシートの内容を見取る。・課題に取り組む際に解法の過程を記述させて内容を見取る。
- ・自己評価シート、授業観察、定期考査
- ・振り返りシートを市記述させ、学習状況を把握し計画させ評価させた。
- ・ペーパーテストの記述(問題に取り組もうとしているかを見る)・振り返りカードの記述内容(POCAを意識してとりこんでいるか)
- ・提出物を与え、その内容で小テストを行う。授業での観察
- ・定期考査や小テストの振り返りや解き直し等を通して、自らの課題を見つめ直し復習したりさせる活動内容を評価している
- ・得た基本的な学習内容を活かして、課題を解消しようとする態度、またどのように活かしているか(授業観察、レポート等)
- ・毎時間の小テストによって安定して点数を取ることができている。・自己評価において、自分には何ができなくて、そのためにはどのような取り組みや考え方が必要かを考える。
- ・授業の様子、提出物、小テストを総合的に評価
- ・レポートやノート等
- ・テスト直しのノートを提出させ記述内容、取り組み方を評価している
- ・課題への取り組み方、特に間違えた問題や分からなかった問題への取り組み方
- ・自己評価シートの内容・課題への取り組み、内容。
- ・課題等に対して、どれだけ一生懸命取り組んでいるか熱量を評価している。
- ・スパイラル学習を取り入れてる
- ・振替シートの導入 ・生徒の取組の様子
- ・レポート課題で説明させる問題を出す
日常の活動や授業態度
- ・定期考査の間違え直しの工夫
- ・「自己調整力」・絶対的な点数の評価+過去との差 「粘り強さ」・課題の提出状況と自らの課題に応じたノートやワークの加筆、完成まで何度も提出しつづける姿勢
- ・設問からノート・レポートで内容を測る。

- ・自習ノート活用し、自己課題に取り組む事で「自己調整力」を演習量を見ることで、「粘り強く学習に取り込む態度」を評価している。
- ・「自身の生活にどのように活かしていきたいか」「どのように活用できるか」等の記述をかかせる
- ・基本的な内容を小テストで評価している←学習すれば、点数が取れる
- ・自宅で学習内容をまとめることができるか。それを、クラスメートが理解できるまで説明できるか。
- ・授業中の問題に取り組む様子や話し合い活動の様子を見取り、記録、評価する。
- ・授業にみれる生徒達の取組の様子（教え合いの様子や問題演習に取り組む姿勢など） 宿題への取り組み方、小テスト、確認テストの取組の様子
- ・各単元において、まとめさせてポ ートを書かせたり、ノート等の取り組みを見て評価している。
- ・ノートや問題集にある記述や解答を導く過程
授業中の発言中の「数学的な思考」に関わる部分を評価
- ・自己評価カードを用いて毎時間の授業の理解度課題を自分自身で文章化させ、把握させ、次の授業へつなげている。

(八王子)

○ワークシートを活用した評価

- ・授業終了5分前に、今授業のねらいに対して「わかったこと・大切なこと」を振り返り記録用紙に記入させる。また、同時に「気になること・もっと知りたいこと」を記入する欄を設け、授業改善に生かしている。
- ・毎時間、生徒が授業内容を振り返り、ポイントや課題を「振り返りシートに」まとめ、家庭学習や次の授業へ活かせるようにさせていく。各単元ごとに「振り返りシート」を回収し取り組みの状況の評価するとともに、次回の習熟度別クラス分けの参考資料とする。
- ・定期テスト後のやりなおしレポートの作成
レポート課題におけ考察内容
- ・定期考査ごとに個人内評価をさせ、自身のこれまでの取り組みを振り返らせ、今後の目標などを掲げさせる機会を設け、その記述内容を評価に活用している。
- ・レポート課題をどのようにして、よりよいものにしていこうとしているかを評価している。
- ・自己評価表、レポート課題、提出物
- ・机間指導で、生徒の取り組みの様子を観察したり、課題のレポートの内容を分析したりすることを中心に、評価を行っている。
- ・各授業後に行う振り返りの記述および定期考査後に行う単元の学習に対する振り返りの記述
- ・自己評価シートの記述内容や問題集等の取組内容、および、その変化。評価時点までの学習方法とその成果や課題を記述し、今後の学習方法と意欲について記述できているか。テストや問題集等の間違い直しに取り組んでいるか。
- ・学習内容について、気づいたこと等を数学的用語を使って説明できているかをワークシート等を使って評価している。
- ・試験の振り返りを具体的にまとめさせ、次の試験前に活かす。
- ・各課題の達成度や、提出物の達成度等の規準を細分化・明確化して適用している
- ・中間考査の考察が期末テストに活かしているか。
- ・ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察や、生徒による自己評価や

相互評価等の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いている。その際、生徒の発達の段階や一人一人の個性を十分に考慮しながら、「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で、評価している。

- ・生徒の成果物（ノート・プリント・振り返りシート等）に、自分の学びの気づきや改善点を記入させるよう指導し、その状況を確認している。また、単元テストや定期テストで工夫した問題を作成し、評価に活用している。
- ・「自己調整力」や「粘り強く学習に取り組む態度」は、課題に対して間違いを直したり、答えを読んで理解し、写しているかを評価している。
- ・ワークの指定したページを学習するように指示し、その中からまったく同じ問題を小テストとして出題することで、自ら学習する態度を測っている。週1回程度。
- ・各章において、自分の興味をもった内容の記述や、課題に取り組む姿勢、内容で評価を実施しました。
- ・授業内の生徒の言動、振り返りシートにおける生徒自身の記入内容、また、振り返りシートにおける他己評価の内容
- ・教科書を見ながら書く、振り返りシートを各単元ごとに行っている。
- ・「学びの足跡」と題して、各授業を受ける前と受けた後の分かったこととまだ分からないこと（これから学習したいこと）を記述させ、自身の学習の過程を記録していくことで2つの観点を評価している。
- ・ワークシートの記述内容で評価。特に定期考査後の解きなおしや振り返り等を表現させ、評価材料にしている。
- ・「自己調整力」では、ワークへの取り組みや授業態度、授業用ノートへの取り組みで評価している。「粘り強く」では、ワークの解き直しやテストの解き直しレポートを使って、評価している。
- ・ノートや提出物などに主体的に取り組んだ様子が分かるように各自工夫させて、それを評価の一部にしている。
- ・授業中の様子や試験や課題の後に提出される振り返りシートから評価を行う。
- ・定期考査の後に全ての問題解きなおし、提出させている。間違えた問題などにしっかり向き合い、わからないままにしないように取り組む態度を評価している。
- ・1つの問題に対して、自分が持っている知識をワークシートにできるだけ具体的に文章化させて取り組んだ内容を評価した。副教材に取り組んだ内容で工夫している生徒を評価した。
- ・ワークの取り組み方やレポートの内容。問題集を解かせたうえで、その間違いのやり直しや自己の課題を洗い出させている。授業、提出物に取り組む態度を見ている。
- ・テスト直しレポートを作成させ、間違えた問題のどの部分がわからなかったのか、途中式を吟味するよう指導している。また、テストを振り返り、課題点を考え、今後どのように改善していけば良いか自分なりに考えさせる。その他レポートの書き方をルール化し、A～Eで評価している。
- ・普段の授業の様子やレポートの内容を総合して評価している。
- ・振り返りワークシート（その単元で何を学び、それによってどんなことができるようになったか）、レポート課題（その単元で学んだことを活かして問題に取り組む）
- ・問題集の取組で粘り強く学習に取り組む態度を間違い直しをノートに解かせ、それを自己調整力を

見ている。また、レポートでは、まとめ方で粘り強く学習に取り組む態度、記述内容から自己調整力を見取っている。

- ・本校の場合は不登校等による学習の遅れや低学力の生徒が多いので基礎基本の定着を図るための自己調整力や態度を次のように評価しています。基礎基本の定着を図る課題を与える→回収して教員が○付け→やり直しの繰り返し(何度でも可)。クロームブック(フォーム)を利用して前時の授業内容を確認する。課題やクロームブックで扱った問題の類題を単元テスト定着を確認する。

(立川)

- ・問題集で間違えた問題のやり直し ・振り返りシートの記入(反省点、今後の課題対策など) ・再テスト(自主参加)
- ・単元・項ごとの振り返り、まとめの内容
- ・「間違えた問題を繰り返し解くこと」をしているか、ワーク等への取り組み方など
- ・ノートまとめ
- ・毎週ワーク等の提出を行う
- ・自己の学習を振り返る活動を評価する(現状はできていない)
- ・テスト直し、ワーク等の取り組み方

(武蔵野)

- 自己評価シートを毎時間記入 ○発表 など
- ・レポート、ワークの取組方、振り返りシート、小テスト
- ・学習の振り返りを積み重ね、そこから読み取って評価した。取り組んでいてとても難しさを感じている。
- ・単元ごとに記述式の課題 ・ワークやレポートによる課題
- ・自己評価カードやワークシートの振り返りによって、意識している生徒各自の課題や目標をクリアするために取り組んでいる授業での様子や、問題集等で分からなかった問題を理解しようと解説等を参考にしている様子、他の解き方等も考えようとしている姿勢等を見取る。
- ・毎時間「振り替え委シート」を記入させ、他の生徒の意見の良さを認め苦手を克服しようとしているかを確認している。

(三鷹)

- 自己評価シート
- ・ノートやワークシートの記述
- ・自己評価シート
- ・ノートやワークシートの記述
- ・自己評価シート
- ・自己評価シート
- ・自己評価シート

(青梅)

- 授業中の机間指導等を通じて捉えた生徒の取組内容や数学的活動を取り入れた授業ワークシートの記述内容等から評価している。
- ・「主体的に取り組む態度(学びに向かう力)」の70~80%を課題や提出物の評価点として、残りの20~30%は定期考査において、課題や提出物に関する問題を一部導入して、その定着度を評価点とし

ている。

- 中単元ごとにその内容の振り返りを行っている。単元内容について、理解できた部分と理解が不足している部分をそれぞれ生徒自身に振り返りをさせている。また、振り返りをさせる前にまとめの問題演習を行うことで自身の理解度をより明確にさせ、より適した振り返りや今後の課題の発見ができていくかを評価している。
- ノートやワークの取り組み方
- 自己評価、レポートの内容、授業での発言を総合的に評価
- 数学のワークを計画的に自宅・学校で取組ませ、提出させている。その際途中経過や計算方法をできるだけ詳細に記入させ、評価の基準に沿って評価している。また、毎時間小テストを授業内で行い粘り強く数学に向き合う態度という観点で評価している。
- 各節ごとに行う確認小テストや定期考査に向けた自己の学習の在り方や反省を振り返りシートにまとめさせる。解きなおし等をさせる際には教員からの声掛けやメッセージを残して、どのように学習をしなければならぬか考えるきっかけを作っている。
- テストのやり直しレポートを作成して解答までの課程を自ら学ぶようにしている。テストでの問題と同類の問題を次のテストでも出題することで、確認の機会を設けている。
- 「自己調整力」⇒行動観察、自己評価カード等の記述内容チェック 「粘り強く学習に向かう態度」⇒ノートやワーク等提出物チェック
- 単元の振り返りの記述、プリントや問題集の解答の様子（途中式等）
- ノートへの記述で、授業内容の板書以外に自主的に書くように指導している。具体的には、授業中に分からなかったこと、自分なりの考え方や問題を解く上でのポイントを書きとめておき、テスト前などに振り返りをさせている。また、問題集を一通り解いたあとの追加演習としてノートに問題を書き写させ、複数回解かせることで基礎基本の定着を狙っている。以上2点を「自己調整力」と「粘り強く学習に取り組む態度」として評価している。

(府中)

○ふり返しシート、ワークシート、授業での取り組み等

- 課題やノートでの解き方、解きなおしの取り組みを評価している。
- 解決できなかった課題に対しての取り組み状況を、ノートやレポートで評価する。
- レポートによる評価、ノートの記述の変容の読み取り、提出物の取り組み具合の変容
- 自己評価シートの記述内容
- ワークシートの記述状況、授業観察
- 様々な考え方が生まれるような課題に対しての取り組みを、ワークシートを活用して見取っている。自力で解決できなかったものについても、他者の意見を聞いて理解した上で、解き直しをさせることで評価に加えている。
- 「自己調整力」：自己調整力がある場合は、定期考査や小テストの点数に反映されるものだと考え、ペーパーテストの結果も採用した。また、各授業の振り返りや各章の振り返りを行い、学習内容について考えを深められているかの内容を見取った。
- 「粘り強く学習に取り組む態度」：定期考査や授業においてレポート課題を出題したり、補習や再テストを行うなど、答えを写す学習ではなく、自分で調べたり、できるようになるまで時間をかけて取り組む様子を見取った。

- ・日々の授業の振り返り、毎日の提出物の提出状況と内容
- ・毎日の授業の振り返り、章ごとのレポート、定期考査のやり直しノートでの記述
- ・レポートに学んだ内容とその活用等を書かせる

(昭島)

○問題集でできなかった問題でもやり方から理解し何度でもやり直しているか。

- ・提出物（ノート、ワークなどの記述内容に基づいた評価、振り返りシートの内容による評価）
- ・ワークシートの取り組み状況、テストに向けての目標設定とその後の取り組み状況
- ・授業ごとの振り返りを基とした、「単元の振り返り」及び単元のまとめりごとで「テスト」を行い評価しています。
- ・「粘り強く学習に取り組む態度」…ワークシート、問題集、レポートなど、定期的に継続した取組
「主体的に取り組む態度（学びに向かう力）」…上記取組について回を重ねることに見られる変容
や自己の振り返りなど
- ・振り返りシートやノート点検（基準を定める）を活用し、評価した。

(調布)

○・授業の振り返り ・ノート ・問題集 ・レポート課題

- ・振り返りシートでの記述
- ・授業の振り返り ・ノート ・問題集 ・レポート課題
- ・レポート ・マイ時間の振り返りシート ・テスト後の自己評価シート
- ・単元テスト ・文章での説明
- ・振り返りシート（①分かったこと ②分からなかったこと ③改善したこと ④新しく学んだことを記述させる。分かったことを利用して更に向上しようとしているか。分からないことを分かるように努力しているか。）
- ・授業の振り返り ・ノート ・問題集 ・レポート課題
- ・振り返りシート ・ワーク等の取組内容 ・定期考査の振り返り 等

(町田)

○授業の振り返りを毎授業の最後の5分間で行い、「何ができるようになったか」や「気づいた自分の課題」「課題を解決するために何をするか」を考え記入させ、記述内容をABCの3段階で評価しています。

- ・自己の課題を的確に把握し、また、その課題の解決に向けて取り組んでいるかを単元別振り返りシートを用いて評価している。
- ・主体的に学習に向かう態度に関しては、教科書の「学びをふりかえろう」の部分を書かせた。書いた内容を評価した。
- ・試行錯誤中のため、記述できる内容がありません。
- ・定期考査や単元テストの後、やり直しテスト（ペーパーテスト）を行い、その結果を評価している。
- ・毎授業ごとに振り返りシートを記入させて、授業を通しての自分が成長した部分や課題に関する記述を評価している。
- ・章の変わり目や定期テスト終了後に自己の学習を振り返るワークシートを課題として与え今後の学習の改善点や、知識技能の実生活への活かし方について記入させそれを評価しています。
- ・解きなおし

- ・自己評価シートやレポートや質問するなどの姿勢で評価する。また、自らの問題を選択し、取り組む工夫や考え方を何通りか発表させ、まとめたものを評価する。
- ・毎時間振り返りシートに「本時の授業で理解したこと」や「授業を通してできるようになったこと」、「自己の課題と改善策」「前の時間よりもできるようになったこと」などを記入させそれを評価している。
- ・レポート課題の提出 ・navima の活用
- ・毎時間の自己評価や証明問題などの記述回答を発表させることで、学びに向かう力を評価している。
- ・ノート、授業、ワーク
- ・提出物や授業での取り組みに加えて、レポート（試験の振り返り、課題）の作成を通して評価している。
- ・途中式をしっかりと書いているか等
- ・ワークシートを利用して、提示した問題に対する姿勢で評価している。最初に提示した問題に対して、個人学習の時間を設けて、「粘り強く学習に取り組む態度」を養い、他者の意見を書く欄を用意し、生徒の「自己調整力」を身に付けさせている。
- ・発展的な課題に対する取り組みをワークシートを用いて評価している
- ・定期考査や単元テストの振り返りで、取り組んだ時間と勉強方法について成果と課題を書かせている。
ワークを定期考査前に点検し、ワーク2週目に取り組みさせる。定期考査にワークと同じ問題を一部出題し、理解度を見ている。

(小金井)

○多量の課題や難解な課題に取り組む熱意をみる

- ・中間考査・期末考査の1週間後にほぼ同じ問題で再テストと実施している。また教科書の章ごとに探求レポートに取り組ませている。
- ・授業用ノートのほかに「解き直しノート」というものを用意させている。授業で解いた問題や問題集に直接書いて解いた問題を、この解き直しノートに各自もう一度解き直しさせ、家庭での学習に活用させている。また、定期考査返却後は各自の点数や正解・不正解にかかわらずテスト問題をすべて解き直しさせている。これらはすべて定期考査実施日に回収し、チェックしている。合っていた問題も含め、間違えた問題や解き方のわからなかった問題を繰り返し解かせることで「自己調整力」や「粘り強く学習に取り組む態度」を評価している。
- ・毎時間の最後に「振り返りシート」として、3～4行程度授業の理解度や集中度などを書かせて、その内容を評価している。
また、小テストを実施し、合格点に達しなかった場合は、2回目、3回目と合格点に達するまで再テスト行う。(3回目でも合格しなかった場合は、課題プリントを提出させる)
- ・章ごとに振り返りシート、課題レポートをさせている。また定期考査後にテスト直しや副教材を何回か解かせるなど繰り返し粘り強く学習をさせている。

(小平)

- 範囲を短く設定した小テストを実施し、その後さらに不十分なところを練習したのち再テストに取り組む、力をつけていく取り組みを月3回(を目安に)行った。
- ・レポート課題の提出やリカバリーテストやワークシート、ノートの内容等で評価している。

- ・単元振り返りシートを全学年で作成し、そこで評価をつけている。章ごとではなく節ごとに目標の修正や振り返り、新たな目標の設定を行っている。
- ・試験後との振り返りシート、ワークシート、ノート、副教材、毎授業の小テスト
- ・単元のまとめとしてレポートを作成し、グループ内で発表をする。その際に使用したワークシートをもとに評価する。
- ・定期考査前に類似問題を課題として配布し、定期考査に向けて自己調査力を高めている。毎授業の初めに計算問題や復習問題に取り組むことで、粘り強く学習に取り組む態度の向上を図っている。
- ・毎時間宿題にしている復習プリントから小テストを行い、希望者は追試を受けられる。小テストと追試の良い方の点数を評価で利用。
- ・各章、節ごとに、評価内容の理解度テストを実施し、テスト結果から理解度振り返りシートを各自記入する。記述より学習内容の自己分析を行い、記述の内容を基に評価をしている。

(日野)

- 試験の振り返りやレポートなどの取り組みを見る。一つの問題に対し、いくつかの解き方を考えたり、自分なりの考えが書かれているかを評価する。授業のノートで、間違えた問題に対し、次につながるような記述などを確認し評価する。
- ・問題集の書き込み状況とテストの点数の相関関係（簡単に） ・レポートの記述内容
- ・定期考査後にレポートを作成させ、テストの取り組みへの分析と今後の自分の課題を記述させることにより評価をしている。
- ・授業ごとに予習や復習に取り組みせ、自力で理解した内容と説明を聞いて理解した内容を比較しながら、学習シートに気付きを記入する活動を行った。
試験後の振り返りで、自己調整力の評価を行った。
- ・振り返りシートによる自己分析とそれに伴う対策等。
- ・振り返りの小テストや課題の提出、レポート作成、リフレクションカードでの自己評価など
- ・定期考査の、「間違い直しレポート」への取り組み状況など。
- ・「定期考査後の解き直しレポート」・「都立入試の類題を解いた際の振り返り」の記述内容により、評価している。

(東村山)

- 机間指導、ワークシートでの記述内容、提出物の取り組み方等
- ・単元終了後に行う単元振り返りシート・定期考査後に行う解き直しレポート・ワークへの取り組みの姿勢・授業や課題への取り組み
- ・①テスト後の振り返りレポートで、出来なかった問題にどのように取り組み、分かるようにしたかを評価 ②毎回の授業で基礎計算問題を数問やらせ、その得点の伸び方を評価 ③毎週1枚家庭学習用復習プリントを課し、その取り組み状況の評価
- ・単元別テストや振り返りテスト等
- ・ノートやワークシートの記述による評価
- ・授業後に、振り返りシートを記入してもらい、授業を受けた中で課題を把握し、それに対してどのように取り組むかを書かせた。復習のプリント等を用いて、理解度を確認していった。

(国分寺)

○テスト後、テスト直しを提出させ、コメントを入れて返却。複数回の再提出を許可し、粘り強く取り組み、数学的な表現を修正する機会を設けた。

・まだ十分に評価基準が定まっていないが、文章の量や内容等で評価している。

・○ノートなどの記述において、板書の内容以外に自分の考えや友達の発言、授業に参加していて気がついたことや疑問などがかかっているかどうか。

○自己評価シートの記述において、わかったことや大切な考え方、疑問やそれをどのように解決しようとしたかが具体的に書かれているかどうか。

・与えられた課題を、計算の過程を書かせて解かせ、その内容を評価する。

章ごとに、既習事項を今後の学習にどのように生かすかを、レポートにまとめさせたものを評価する。

・課題への取り組み状況

定期考査等の振り返りシートでの記述内容

あらかじめ提示した問題での小テストの実施

(国立)

○自己評価において、学習方法を改善しようとする記述が見られ、実践している。式を省かず、解決過程を示しながら取り組んでいる。など。

・レポートの内容、課題の再提出や内容の変化

(福生)

○自己評価シートで小单元ごとに学習を振り返らせ、反省を次にいかすように指導している。その結果、工夫をしていることが読み取れるかどうかを評価したり、単元のまとめでどのように学習したかを評価したりしている。また、テスト直しレポート等で間違えた問題を解き直しさせ、粘り強く問題に向き合っているかを評価している。

・問題集から1つ問題を選び、その解説を記述するレポートにおいては、問題の難易度が高ければ成績が良くなるということをせず、個々の習熟度に合わせて問題を選ぶように指導している。

また、定期考査においては、問題集から出題する問題(応用的な類似問題)を事前に伝え、その問題の評価の観点を「主体的に取り組む態度」で評価している。

・単元レポート・単元前と単元後のテスト・定期テスト等の結果を踏まえ、各授業で生徒の実態にあった問題演習を行い、評価している。

・レポートなどの課題や単元ごとのテストを行った際、評価をさらにあげたい生徒は再提出・再受験を可能としている。その上で、成果を出した生徒に対しては、評価を上げている。

・レポート課題・机間指導・ノート・ワークシート・小テストなど

・自己調整力は定期考査等を活用して評価をしています。また、粘り強く学習に取り組む態度に関しては、ワークシートや定期考査の振り返り等の提出物の内容を確認し、評価をしています。

・毎時間、授業終わりに行う自己評価カードへの記入の取組について、どの程度記述できたかを評価材料にしている。

・定期テストの解き直しにおいて、自己の課題に合った問題を自分で3問以上選び、各問題について誤答の分析や正答に至るために必要な知識、その類題などをまとめるレポート課題を出している。

・単元や定期考査後に振り返りシートを記入させ、評価している。

(狛江)

○単元ごとに振り返りシートを書き、そこで読み取る。

- ・単元やテスト前後に、感想や自己評価を書かせる。
- ・間違えた問題を直す、予告された小テストへの準備、ワークやノートなどへの取り組み（記述）の様子。

（東大和）

○提出物への記述については昨年度まで『関心・意欲・態度』での評価に基づいて行っているが、レポートによる評価などまだまだ検討しながら評価をする必要があると考えている。

- ・生徒に配布した自己評価シートに、毎時間授業への取り組み姿勢を評価させ、態度の評価に活用している。授業中は、発問内容を工夫して、生徒の発言を引き出せるように留意している。
- ・課題プリント・ワーク・ノートの取り組み、授業観察、定期考査
- ・テスト、小テストでテスト直しノートを各自作成し間違いの原因を自己分析した内容を評価する。数学のトピックに対する自己の考えを記入させ、内容を評価する。 等

（清瀬市なし）

（東久留米）

○定期考査までの学習の振り返り・苦手分野の分析をした上で、復習テストを行った。

- ・ワークシートを活用し、自分の最初の思考、他者の思考、思考の共有によって自分の思考がどう変わったかを振り返らせている。自分がどこまで思考できたか、他者の思考から何を学習したかを書かせることで、次の学習に生かせるようにしている。
- ・各章の導入と章末で似た課題を授業で解かせ、評価する。また、考査後、挽回テストを行い、評価する。
- ・課題の取り組み状況（途中式や直しの記述内容）、・振り返りシートの取り組み状況（途中式や直しの記述内容）
- ・机間指導等を通じて捉えた生徒の取組の様子、発言の内容など行動観察。分からないところを躊躇する質問して、課題解決する態度。
- ・設問8の回答のうち、①②で重点的に「自己調整」と「粘り強さ」を見取っている。ただし、習熟度別授業を行っていると、授業者は複数になるので、統一基準で見取ることが極めて難しく、他校の取り組みを参考にしたいところである。
- ・定期テストに対して計画的にワークを取り組む姿勢を評価したり、定期テスト後に再テストを実施し、学習内容の定着を図るとともに、それに対して取り組んで得た力を評価している。

（武蔵村山）

○定期考査で間違えた問題のミスをした原因と、改善するための課題を書かせるレポートや、様々な単元・難易度のプリントから自分で選んで取り組む課題等で評価している。

- ・ペーパーテスト
- ・定期考査を行った後に、振り返りのレポートを行う。その後、類似の問題を小テストに出題し、生徒の取組む態度を評価した。

（多摩）

○答案用紙の途中式の書き方、ノートの生徒自身のメモなどを確認すること、得点にはあら割れにくい記述面などの下記刀などを確認する

- ・難しい問題にも取り組んでいるかどうかや、ワーク等の提出物の取り組み状況を基に評価している。

- ・レポート・評価テストを、事前に出題内容や出題の意図を生徒に提示したうえで実施し、評価を付けた。また、レポートでは記述形式を主とし、生徒の既習事項の振り返りと自身の学習状況に対するメタ認知が図られるような設問を設定した。
- ・ワークやテストの解き直しの取り組み状況より（最後まで取り組んでいるか・間違いをきちんと正せているか・間違えた原因を把握し、次に活かせるような工夫がされているかなど）
 - 提出物を計画的に取り組めているか
 - ノートやワークにおける完成度（理解できるようにメモを取るなど）
 - 事前に問題内容を発表したうえでの小テスト
 - 授業中の発言（発言カードによる記録）
- ・自力で解けない問題に対して、「①どの単元の理解が不十分なのかを振り返ることができているか。」
「②苦手な単元を克服するために何に取り組むか。」を記載させることで、現状の自身の学習状況を把握したうえで、改善（調整）しようとしているかを見取る。また、その後の生徒の筆記テスト等の様子を見て、粘り強く取り組むことができたかどうかを評価する。
- ・振り返りシートやレポートの作成、そして評価テストを行い、その達成度により、点数化して評価している。
- ・ポートフォリオを活用して、変容を評価している。
- ・課題解決におけるノートやワークシートの記述
- ・生徒が得意または苦手とする学習内容の分析について、および授業への取り組みの振り返りなどの記述内容による評価や、提出物等における、途中式の記述や解き直しなどの記述内容による評価（稲城）
- レポート形式で授業理解度の確認やノート・問題集での取り組み状況を把握。何度もやり直しや解説を付けて取り組みながら、生徒の変化や気付きを見ている。
（羽村と西多摩郡）
- 自己評価で改善策まで考えさせ、次回それを自己評価するなど。ループさせている。単元テストのやり直しを行い、その内容から調整力を評価している。相互評価によるメタ認知能力の向上から調整力を評価している。
- ・章ごとに、その章についてまとめたレポートを提出させて評価した。
定期考査の前に類似問題を提示し取り組ませ、どれだけその結果が定期考査に反映できたかで評価した。
（あきる野）
- 「自己調整力」：振り返りシートの記述内容による評価。
「粘り強く学習に取り組む態度」：教科書やワークの問題を解き直しや工夫など、記述内容による評価。
- ・章ごとに「まとめレポート」を作成する。内容は、「章のポイントを自分でまとめる」と「章末問題を解き、答え合わせをする」の2つ。
- ・授業時における取組状況の観察や提出課題における取組状況の分析。
- ・「定期考査 自己評価シート」「単元復習確認シート」等
- ・「テスト直しレポート」「忘れ物チェック」等
- ・毎週末に課題（プリント1枚）を与える。

- ・定期考査返却後に定期考査結果の自己分析のレポートを作成させる。

(西東京)

- 定期テスト等の間違いを自力で解けるようになるまで直せたかどうか。

- ・自主的に取り組むプリント、テスト等の振り返り

- ・調整力…ふり返しシートへの記述(模索中)

粘り…授業中の行動観察

- ・小テストを実施し、後日同じ問題に取り組み、どれだけ正答率が上がったかを見取る。

- ・授業やテストの反省、解き直しを評価

授業内テストと同じ内容の再テストの実施

- ・ワーク、自己評価シート、テスト振り返りシートの記述内容で見る。

- ・授業プリントの記述内容や日々の振り返りシートから評価している。

- ・プリントの記述から評価している。

- ・ワークの解き直し、テストの解き直しの提出

(大島)

- 各単元で自己評価とレポートを作成し、その内容と取り組み姿勢で評価している。また、授業の中での生徒の様子やノート、ワークシートの記述内容から評価をしている。

- ・授業中に難易度のやや高い課題に対しても、友達や教員に聞く、議論など工夫して解決しようとしているかを記録

単元テストや定期考査における振り返りをきちんと行っているかの評価(振り返りシートを作成・提出させている。)

- ・提出物や毎授業の導入で行うチェックテストの取り組みから客観的に判断

(利島)

- ワークやプリントなどの取り組みから「自己調整力」と「粘り強く学習に取り組む態度」を見取り評価している。また、毎授業ノートに振り返りを書かせ、評価している。

(新島)

- 毎時間ごとの振り返りシートの記入状況および、授業観察、テスト結果を総括して評価している。

- ・主な評価材料は「見通し」と「振り返りシート」で行っている。単元を通した見通しと学習課題に対する見通し、見通しに対する振り返りで今後の調整を記入させている。

(神津島)

- 【主体的】授業の内容をねらいに沿ってまとめたもの「学びの足あと」の記述で評価している。

【自己調整力】基礎的な問題を定期考査に出題して評価している。

【粘り強く】副教材(ワーク)の記述で評価している。

(三宅島)

- 自己調整力については自己評価シートを活用して主に確認をしています。粘り強く学習に取り組む態度は、行動観察やワークなどの取組状況を加味して評価しています。

(御蔵島)

- 自己評価シートの記述を確認する。

(八丈島)

- 自分の力を理解し、それに見合うだけの学習をしているか。その理解度をあげるための努力をして

いるか。例：問題集提出ノートの解答の書き方・正答率・間違えたときの対処の仕方をチェックする。

- ・テスト問題の振り返りの際に、レポートを課題として提出させる。レポートの内容は「出来なかった問題の復習」や「より難しい問題への取組」など生徒が主体的に考えるようにしている。
- ・授業後の振り返りを書かせている

(青ヶ島)

- 問題について、意見をまとめさせ互いに発表する。その内容について、ESDの視点より「批判的な視点」から意見を出し合い、出てきた課題や結果について深く考察することができるかを評価している。

(小笠原)

- 定期考査前小テストを受けて、定期考査までどのように学習していくか考えさせる
- ・既習内容の確認テスト。

【分析・考察】

観点「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、各教科において令和3年度の大きな課題である。「⑥まだ、具体的には考えていない」が14.2ポイントで一番低く、具体的にどう評価していくか、どの教員も頭を悩ませていることが分かる。

「④定期考査や単元別テストなどペーパーテストによる評価」が22.3ポイントと低く、観点「主体的に学習に取り組む態度」の評価をペーパーテストで行うことは難しいと多くの教員が考えていることが分かる。「②ノートやワークシートの記述内容に基づいた評価」が73.3ポイントと最も高く、「①机間指導等を通じて捉えた生徒の取組の様子、発言の内容など行動観察による評価」、「③自己評価シートや相互評価、個別面談の内容による評価」、「⑤レポートや発表などパフォーマンス課題による評価」と比較して具体的な要素が多いため、評価しやすいと考える教員が多いことが推察できる。

「①机間指導等を通じて捉えた生徒の取組の様子、発言の内容など行動観察による評価」は、どのような生徒の取組や発言内容が評価材料として適切か、その評価基準をどうするかなどの課題がある。

「②ノートやワークシートの記述内容に基づいた評価」は、どのような記述内容が評価材料として適切か、その評価基準をどうするかなどの課題がある。

「③自己評価シートや相互評価、個別面談の内容による評価」は、どのような自己評価カードを作成すればよいか、どのような相互評価や個別面談の内容が評価材料として適切か、その評価基準をどうするかなどの課題がある。

「④定期考査や単元別テストなどペーパーテストによる評価」は、どのような問題を出題すれば評価材料として適切か、その評価基準をどうするかなどの課題がある。

「⑤レポートや発表などパフォーマンス課題による評価」は、どのようなレポート課題・パフォーマンス課題が評価材料として適切か、その評価基準をどうするかなどの課題がある。

数学の授業は習熟度別少人数授業を行っている学校が多い。そこで、各校で数学科の教員で十分に話し合いを行い、共通理解を図り、共通な評価材料や評価基準のもと進めていく必要がある。保護者

と生徒にも十分に説明し、理解を得る必要もあると考える。

してもらふ必要もある。

3 まとめ

新学習指導要領が公示されて約4年、これまで各校において新しい学習指導要領を意識した授業改善が進められ、いよいよ来年度は全面実施となる。都内中学校の数学科授業について、課題の改善に結びつけるための実態調査を行い資料化することは、授業改善を進める上でとても重要であると考え、調査結果をまとめてきた。

現在、「主体的・対話的で深い学び」の実現のための授業改善、数学的活動を取り入れた授業、ICTを活用した授業、より効果的な少人数授業、若手教員を含めた授業力の向上、多様化する生徒への支援など多くの取組が行われている。しかし、これらの取組を行っていくなかで課題も多くある。特に、今年度は新型コロナウイルス感染症対策で学校は4月・5月臨時休校となり、これに伴ったオンライン授業等の課題が浮き彫りになった。そこで、今回は設問8で臨時休校中の数学の学習について調査した。また、設問9で令和3年度から4観点から3観点に変更になることで、各校での観点「主体的に学習に取り組む態度」の評価について調査した。

オンライン授業等の課題は、GIGAスクール構想により全生徒にタブレットが配布され「教え方」「学び方」「働き方」が大きく変わることから、今後も類似した調査を継続していく必要があると考える。また、観点「主体的に学習に取り組む態度」の評価についても、調査結果から課題が多いと判断できるため、調査を継続していく必要があると考える。

ここ数年、同一の設問に回答していただくことで経年変化にも注目し、分析と考察を行っている。単年度の傾向と経年変化の両面で分析することにより、現場の先生方が困難な課題を抱えながらも、より良い授業づくりを目指している実態が明らかにできたのではないかと考える。今後も授業改善に結びつく実態調査となるよう心がけていくとともに、調査結果をもとに、都中数として先生方の希望に沿った研修や講演会を企画し、調査結果の還元に努めていきたいと考える。

最後になりましたが、調査の実施にあたり、ご回答いただいた各校の先生方、調査用紙の配付・回収及び集計等、煩雑な作業を快くお引き受けいただいた各地区連絡理事の皆様には深く感謝を申し上げます。約99%と非常に高い回答率となったのも、各校のご協力と各地区連絡理事の皆様のご協力のおかげであります。誠にありがとうございました。

(文責 調査部 部長 植木 清)

設問 8

令和3年からの学習指導要領では、評価が3観点になります。3観点のうち「主体的に取り組む態度（学びに向かう力）」をどのように評価していますか。次の中から5つまで選んでください。

- ①机間指導等を通じて捉えた生徒の取組の様子、発言の内容など行動観察による評価
- ②ノートやワークシートの記述内容に基づいた評価
- ③自己評価シートや相互評価、個別面談の内容による評価
- ④定期考査や単元別テストなどペーパーテストによる評価
- ⑤レポートや発表などパフォーマンス課題による評価
- ⑥ポートフォリオ評価
- ⑦その他 設問8-2に具体的に記述してください